

第8回 江山地区義務教育学校設立準備委員会（教育環境整備部会）概要について

1 日 時 令和元年9月10日（月） 19時 ～ 21時

2 会 場 江山人権福祉センター

3 出席者 【委員】教育環境整備部会員11名
【教育委員会事務局（教育総務課）】職員2名
【傍聴者】2名

4 報 告

(1) 長寿命化改修・増築校舎について

副部会長より、8月26日に開催された準備委員会委員有志による検討を受けて、基本設計の業者協議（3回目）を行ったことが報告されました。報告事項は、以下のとおりです。

- ・少しでも広い部屋で高学年の生徒に学んでもらうことやブロック制を考慮して、8年生教室を9年生教室の真下の2階の角部屋に移した。
- ・他校の配置状況を調査した結果、技術室は全ての学校で1階に配置されていることや、集塵機の設置を考慮して、1階の角部屋を家庭科室から技術室に変更した。家庭科室は、特別教室棟の2階に配置してはどうかと考えている。
- ・長寿命化校舎棟については、以上の措置を講じることで、学校としては、日常の教育を十分に行えると考えている。
- ・増築棟については、8月26日の検討を受けて、1階に全校児童生徒が集えるスペースを設けてもらえないか業者に検討をお願いしている。これについては、学校としても優先度が高いと考えている。具体的には、ひとまず学校の敷地内に収めることを前提に体育館側にできるだけ拡張していただくようお願いしている。2階以上には、特別教室を配置してはどうかと考えている。
- ・長寿命化改修校舎及び増築校舎について、間もなく業者の方で修正した図面が完成するとのことなので、これをもとに再度業者協議を行っていきたい。
- ・今後の工事スケジュールも見越して業者と基本設計の協議を進めており、できるだけ早く修正した図面もお示ししながら、準備委員会での検討を進めていただきたい。

報告を受けて、増築棟の修正した図面を見ながら、長寿命化校舎棟の中身を含めて検討していくこととしました。今月もう一度、部会を開催し、検討内容を9月27日の準備委員会で報告していくこととしました。

また、事務局より、基本設計のスケジュール感について、令和4年度完成を目指すことを考慮すると、現時点においても厳しい状況にあると説明がありました。また、基本設計が終わらないと全体の工事の規模も決定しないので、現時点で具体的な工期を示すことが難しいとのことでした。

ただ、部会としては、場合によっては工事の完了時期が遅延しても、長年の校舎利用を考えてしっかりと検討することも大切であると考え、次回以降も引き続き検討していくこととしました。

5 議 事

(1) 校章について

全38点の応募作品の中から、委員1名につき5点を選び投票しました。その結果、4票以上獲得した上位7点の作品を、最終選考の候補として決定しました。

9月27日の準備委員会において、最終選考を行うに際し、次のような手順を踏んで選考することを決定しました。

- ・委員1名につき、3点を選び投票する。
- ・1回目の投票の上位3点について、委員1名につき1点を選び投票を行う。
- ・最も多かった案を校章デザインとして決定するが、全委員の過半数に満たなかった場合は、2回目の投票の1位と2位の間で決選投票を行い、決定する。
- ・決選投票でも同数であった場合は、準備委員会の委員の協議により、決定する。

なお、校章採用者又は入選者への副賞については、併せて準備委員会の中で検討していくこととしました。

6 その他

- ・次回の部会を、9月24日（火）19：00～20：30 江山人権福祉センターで開催。